

令和4年3月28日

東京都中学校バスケットボール部 関係者の皆様へ

東京都中学校体育連盟バスケットボール部

競技部長 菅原 芳雄

都大会講評

多くの方々のご理解とご協力を受けて、令和3年度第72回東京都中学校バスケットボール新人大会を終えることができました。今大会は1月9日の1回戦は全ての試合を行うことができましたが、新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染拡大の影響で、3回戦までに9試合の棄権試合が発生し、1月30日以降の試合を一時中断することとなりました。大会期間中に会場を変更することを余儀なくされ、各チームからの健康状況の集約、日増しに増える感染者の推移など、先行きが予測できない状況が続きました。中断時点で大会を中止にした際の夏季大会へのシードの扱い等を含め、あらゆる可能性を模索した結果の大会再開でした。準々決勝からは連日開催となり、決勝を戦ったチームにとっては2日間で3試合です。怪我の発生も心配されましたが、まん延防止の限られた時間の中で研鑽を積んできた成果が見られたのではないのでしょうか。令和4年度は東京都で関東中学校体育大会が開催されます。東京都代表校として出場するチームは、開催地枠の2枠を加えた男女各6チームとなります。前述した棄権試合に関連するチームの中にも実力校は多く、虎視眈々と上位進出を狙っている状況です。今後どのような状況になるのか誰も予測はできませんが、日々の練習に打ち込み、競技者としても、一人の中学生としても選手の皆さんが成長してくれることを願います。そして何より、地区予選からすべての試合が行えることを祈るばかりです。今回の講評では結果に関する記述は控えましたが、入賞された各チームの健闘を称えたいと思います。夏に向けての勝負はすでに始まっています。どうか怪我にはじゅうぶんに注意をして、仲間とともに残された時間を有意義に過ごしてください。

最後になりますが、会場をお貸しいただきました会場校の先生方、感染防止の観点から急遽オフィシャルを行うために会場に足を運んでくれた先生方、様々な変更、対応がある中で連絡・調整に奔走して下さった競技役員の先生方、本当にありがとうございました。棄権を覚悟しながらも確かな状況を報告して下さった各チームの顧問の先生方のおかげで最終日を迎えられたことに厚く御礼申し上げます。講評とさせていただきます。